



Fanfare2022の歩み

2021年度から始まった「Fanfare あびら起業家カレッジ」。

新しい暮らしや働き方、事業創出といった価値を生み出す、チャレンジをする仲間を、発掘・育成・選考する事業であり、「安平町で挑戦する人材と町との長期的関係性の構築」を目指しています。

プログラムは多岐にわたり、町について知るイベントに始まり、町内に滞在しながら行うアイデアソンキャンプなどを経て、本プログラムとなるFanfareとして書類審査・ビジネス合宿・最終選考会、そして採択（各プログラムについては左記ページにて紹介）。初年度には2名の方のビジネスプランが採択され、起業をし町内に新しい風を吹かせてくれています。

令和4年度も同事業が展開され、さまざまな方がエントリーをし、2022年12月に行われた最終選考会には3名が残り、1名の方が事業採択という結果になりました。

町民の方でもご参加いただける事業です。「実はこんなビジネスをしてみたい」そんな思いを抱いている方には、ぜひ目を通してもらいたいです。

普通の起業と Fanfare。大きく異なることは？

町内で起業を行う方には、創業等支援補助金等の支援が一律に用意されています。

Fanfareを介することで大きく異なるのは次の点です。

最大で3年間のベーシックインカム（一定額の現金給付）があるということ。

Fanfareの選考で採択された方は、最大で3年間、地域おこし協力隊として活動いただくことができ、1か月あたり約20万円程度の給付を得ることができるのです。

「ただの資金的な創業支援だけではないサポートの充実さ」という点を参加者の多くが話しているように、初期投資などで支出が多くなってしまいう起業当初に、このような支援があるのはチャレンジの後押しをしてくれるのも確実になっているのでしょうか。